

## 建設現場に設置する「快適トイレ」の実施要領

### 1. 目的

建設現場を男女ともに働きやすい環境とする取り組みの一環として、男女ともに快適に使用できる仮設トイレ（以下、「快適トイレ」という。）を導入し、建設現場の環境改善を図ることを目的とする。

### 2. 対象工事

福岡県県土整備部が発注する建設工事を対象とする。

ただし、次の各号のいずれかに該当する工事は対象外とする。

- (1) 通常、仮設トイレが設置されずに施工される工事（緊急対応工事等）
- (2) 主たる工種が屋外作業でない工事
- (3) 災害復旧工事

### 3. 快適トイレの仕様

現場付近に個別にトイレを設置する場合に適用する。（現場事務所内にあるトイレには適用しない。）快適トイレには以下の仕様があるが、本要領でいう「快適トイレ」は、このうち「(1) 快適トイレに求める標準仕様」「(2) 快適トイレとして活用するために備える付属品」を全て満たすものとする。なお、女性が現場で働く場合は、男女別で各1台設置するものとする。

- (1) 快適トイレに求める標準仕様【必ず実施】
  - ① 洋式便座
  - ② 水洗機能（簡易水洗、し尿処理装置付きを含む）
  - ③ 臭い逆流防止機能（フラッパー機能）  
（必要に応じて消臭剤等活用し臭い対策を取ること）
  - ④ 容易に開かない施錠機能（二重ロック等）  
（二重ロックの備えがなくても容易に開かないことを製造者が説明出来るもの）
  - ⑤ 照明設備（電源がなくても良いもの）
  - ⑥ 衣類掛け等のフック付、又は、荷物置き場設備機能（耐荷重 5kg 以上）
- (2) 快適トイレとして活用するために備える付属品【必ず実施】
  - ⑦ 現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示
  - ⑧ 入口の目隠しの設置  
（男女別トイレ間も含め入口が直接見えないような配置等）
  - ⑨ サニタリーボックス（女性専用トイレに限る）
  - ⑩ 鏡付きの洗面台
  - ⑪ 便座除菌シート等の衛生用品
- (3) 推奨する仕様、付属品【任意で実施】
  - ⑫ 室内寸法 900×900mm 以上（半畳程度以上）
  - ⑬ 擬音装置
  - ⑭ 着替え台（フィッティングボード）
  - ⑮ フラッパー機能の多重化
  - ⑯ 窓など室内温度の調整が可能な設備
  - ⑰ 小物置き場等（トイレトペーパー予備置き場）

### 4. 実施方法

#### 【発注時】

- (1) 発注者は、「快適トイレ」設置対象工事であることを特記仕様書に明示して設計図書に添付する。

#### 【実施工事の契約後から竣工まで】

- (2) 快適トイレ設置を希望する受注者は、工事着手前に、工事打合せ簿により監督員に快適トイレ設置を希望する旨の協議を行うこととする。  
快適トイレ設置を希望する旨の協議がない場合は、本要領は適用しない。
- (3) 受注者が工事の途中から快適トイレの設置を希望する場合も、本要領により施工することができる。

- (4) 受注者は、快適トイレを設置する前に「快適トイレチェックシート」に必要事項を記入し、パンフレット等の資料とともに、監督員に提出するものとする。
- (5) 監督員は、設置前に提出された資料をもとに、設置しようとする快適トイレが本要領の仕様を満たすことを確認する。
- (6) 受注者は、監督員の確認を受けた快適トイレを設置することとし、快適トイレの設置後は、速やかに工事打合せ簿に設置完了写真を添えて監督員に提出するものとする。
- (7) 監督員は、設置された快適トイレを現場または机上にて「快適トイレチェックシート」によりチェックを行う。
- (8) 受注者は、快適トイレに要した費用が確定したときは、速やかに見積もりを監督員に提出するものとする。
- (9) 監督員は、提出された見積もりをもとに、快適トイレ設置に要した費用を、変更設計書に計上する。(積算方法は「5. 積算方法」による。)

## 5. 積算方法

- (1) 快適トイレの費用は、1基当たり「45,000円/基・月」を上限に「積算上の差額」<sup>※1</sup>を計上するものとし、男女別で1基ずつ計2基まで計上できるものとする。(90,000円/2基・月が上限)  
※1:「積算上の差額」とは、実際にかかった費用から10,000円/基・月(従来品)を除いた額
- (2) 計上費用は、「積算上の差額」と「45,000円/基・月」を比較し、どちらか安い方とする。
- (3) ハウス型等の男女別トイレが一体型となっている場合、男女別の入口になっている場合に限り、1ハウスで「90,000円/基・月」上限まで計上可能とする。
- (4) 3の(2)快適トイレとして活用するために備える付属品の費用、3基以上(ハウス型は2基以上)設置する場合の費用及び積算上限額を超える費用については、別途計上は行わない。ただし、現場環境改善費(率分)を計上している場合は、現場環境改善の対象とすることができる。
- (5) 積算方法は、共通仮設費の営繕費に積み上げ計上するものとする。
- (6) 運搬、設置、撤去費用は共通仮設費の率分に含まれるものとし、「積算上の差額」の対象としない。

〈具体的な計上方法例〉

- ① 実際に導入した快適トイレ費用 60,000円/基・月の場合(積算上の差額 50,000円)  
→積算で計上する費用: 45,000円/基・月
- ② 実際に導入した快適トイレ費用 40,000円/基・月の場合(積算上の差額 30,000円)  
→積算で計上する費用: 30,000円/基・月
- ③ 実際に導入した快適トイレ費用  
男女別一体型ハウス 100,000円/基・月の場合(積算上の差額 80,000円)  
→積算で計上する費用: 80,000円/基・月
- ④ 実際に導入した快適トイレ費用  
男女別一体型ハウス 200,000円/基・月の場合(積算上の差額 180,000円)  
→積算で計上する費用: 90,000円/基・月

なお、1か月未満の端日数分については、1か月を28日として日割り計算した額(1,600円/基・日を上限、360円/基・日を従来品相当額とする)により計上する。

## 6. その他

- (1) 工事成績評定において、快適トイレを設置することによる評価は行わない。
- (2) 疑義が生じた場合は、受発注者が協議した上で対応するものとする。

## 7. 適用年月日

この要領は、令和2年4月1日以降、指名通知又は入札公告する工事に適用。